

教科	英語	科目	英語表現Ⅱ	単位数	2	履修年次	1年	2年	3年
						履修形態			必修

教科書	Vivid English Expression Ⅱ	副教材等	スクランブル英文法・語法Basic
-----	----------------------------	------	-------------------

1 学習の目標

- ・英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の工夫をしながら伝える能力を養う。
- ・単語、熟語、構文、文法など基礎的な知識を正確に理解し、自分の考え・意見を英語で表現できる能力を養う。

2 身に付けてほしい力

○	学びの価値を重んじる思考力	○	あきらめずに最後までやり通す忍耐力
	規律やルールを守り、目標を追求する行動力	○	多様な価値を認め、他者と助け合う友愛力

3 学習評価(評価規準と評価方法)

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価規準	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	英語で話したり書いたりして、情報や考え方を適切に伝えている。	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解していること。
評価の方法	a. 授業に対する意欲 b. 発表（内容・態度） c. 課題等の提出（内容） d. 小テスト・定期考査	a. 発表（内容・態度） c. 課題等の提出（内容） d. 小テスト・定期考査	a. 発表（内容・態度） c. 課題等の提出（内容） d. 小テスト・定期考査	a. 発表（内容・態度） c. 課題等の提出（内容） d. 小テスト・定期考査

4 先生からのアドバイス(予習・復習の方法、授業の受け方など)

- ・予習→授業→復習の学習習慣を確立しましょう。
- ・文法書(スクランブル英文法・語法)を用いて、授業で勉強した内容をより実践的・発展的なものにしましょう。
- ・単語帳や教科書を上手に活用し、単語・熟語などの語彙力を高めましょう。
- ・小テストは評価の対象となります。しっかりと勉強して臨んでください。
- ・ワークブックの提出も評価の対象となります。期日を厳守して提出してください。

年間授業計画

学期	月	学習内容	学習のポイント
前期	4月	Lesson13 Run, Melos!	・ 知覚動詞＋O＋原形/分詞 使役動詞＋O＋原形
		Lesson14 How Was Your Vacation?	・ ～ingを含む表現 with ＋名詞＋分詞
	5月	Lesson15 Thinking more about the Earth	・ 比較/ 劣等比較/ 倍数表現
		Lesson16 History Is Interesting	・ 比較級/最上級の強調 比較級を用いた表現
	6月	Lesson17 Making the World Better Place	・ 接続詞(時、条件、譲歩、原因等)
		Lesson18 Family Camping	・ 関係代名詞what
	7月	Lesson19 Hospital Robots	・ 関係副詞/複合関係詞
	8月	Lesson20 My Future Career	・ 仮定法過去/ 仮定法過去完了/ I wish
	9月	Lesson21 Our Network Society	・ 部分否定、二重否定、否定語主語 準否定 ・ 強調表現/名詞構文
後期	10月	Lesson22 It's Hard to Choose	・ 強調表現/名詞構文
		Lesson23 We Were So Lucky!	・ 感謝/喜びを表す表現
		Lesson24 I'm Sorry to Hear That	・ 謝罪/同情を表す表現
		Lesson25 They Like Hot Springs	・ 希望/願望を表す表現
	11月	Lesson26 Sports Tournament	・ 申し出/提案/勧誘を表す表現
		Lesson27 Will You Help Me?	・ 承諾/拒否を表す表現
		Lesson28 Getting Ready for the New Year	・ 助言/依頼を表す表現
		Lesson29 You Have to study Hard	・ 許可/命令を表す表現
	12月	Lesson30 The Olympic Games	・ 原因/理由を表す表現
		Lesson31 How Will You Go?	・ 予定/意図を表す表現
		Lesson32 I Want to Be a Scientists	・ 推論/条件/仮定を表す表現
	1月		

教科名	科目名	単位数	履修形態	担当者	履修年次
外国語	英語会話	3	選択	藤本 誠	3

教科書	Sailing English Conversation
教科書以外の教材	辞書 Sailing English Conversation Workbook

目標	日常生活の様々な場面で用いる会話表現や時事問題等について英語を聞いて理解したり、自分の意見を論理的に述べるための表現を学び、運用能力を身につける。		
学習のねらい	1. 学習内容に関心を持ち、自ら進んでそれらを学び、それを次の学習に生かしているか。（課題の提出状況等でも判断する。） 2. 学習した内容を通じて多様な物の見方や考え方を理解できているか。また、それを客観的に判断した上で自分の考えを適切に表現できるか。 3. ペア活動やパフォーマンステスト等の設定された場面で、情報を発信したり、自分の考えなどを述べたり、他者とやりとりをすることができるか。 4. 様々な話題の英文を読んだり、映像をみながら内容を理解すると共に、社会や文化に関心を持てたか。日常会話や時事問題等を説明するための英語表現を十分に身につけることができるか。		
定期考査	出題方針	1. 教科書のディクテーションや表現の内容を問う問題を出題します。 2. 授業で配布するプリントや授業で学習した内容から出題します。 3. テーマに基づいて自分の意見等を書く問題も出題します。	
	範囲 (予定)	前期中間	Warm-up 1 / Warm-up 2 / Lesson 1 / Lesson 2
		前期末	Lesson 3 / Lesson 4 / Lesson 5
		後期中間	Lesson 6 / Lesson 7 / Lesson 8
		学年末	Lesson 9 / Lesson 10
評価の観点 (4つ)	①関心意欲態度(積極的に授業に臨み、言語活動に関心を持ってコミュニケーションを図ろうとしているか) ②表現の能力(情報や考えなどを英語で話したり書いたりして相手に伝えることができるか) ③理解の能力(情報や考えなど、相手が伝えたいことの概要を英語で理解することができるか) ④知識・理解(言語の運用方法や背景にある知識を理解できたかどうか)		
評価の方法	・定期考査→①②③④ ・課題、提出物→①④ ・パフォーマンステスト→①②③ ・授業中の学習活動(ペアワーク、グループワーク発表など)→①②③		
先生からの アドバイス (予習・復習 の方法、授業 の受け方な ど)	①プリントを保管するためのファイルを準備してください。 (A4サイズ、2穴タイプ) ②辞書は毎時間持参して下さい。電子辞書を持っている人は電子辞書を持参することを勧めます。 ③「会話」は言葉と気持ちのキャッチボールです。授業に参加する際、受け身の姿勢では会話力は身につけません。間違いを恐れずに表現しようと挑戦する気持ちで授業に臨みましょう。		

年間授業計画（3年英語会話）

学期	月	学習内容	学習のポイント
前期	4	オリエンテーション、自己紹介	
		Warm-up 1	Englsih Around the World
		Warm-up 2	People Around Us
		Lesson 1	What Day Is Convenient for You?
			ALTやJTEと会話実践練習 (Conversation)
	5	Lesson 2	How Was Last Sunday?
			Songs Lyrics
	6	前期中間考査	
		Lesson 3	Could I Have an Extra Blanket?
		Lesson 4	Who's Calling, Please?
後期	7		
	8	Lesson 5	How Can I Get There?
	9	前期期末考査	
		Lesson 6	May I Help You?
	10	Lesson 7	You Look Nice in That Dress!
		Lesson 8	I'm Not Feeling Well
	11	Performance 練習	Movies
	12	後期中間考査	
		Lesson 9	I Want to Be a Diplomat
	1	Lesson 10 後期期末考査	Do You Share the Housework?